

戦略作物生産拡大支援

【令和6年度予算概算決定額 47（52）百万円】

＜対策のポイント＞

麦、大豆、飼料用米など戦略作物の生産性向上の取組、品種開発者、種子場、実需者の連携のもと、ニーズのある輸出用米、中食・外食向け等品種の種子の生産・供給体制の構築に向けた取組を支援します。

＜事業目標＞

- 麦、大豆、飼料用米等の生産の拡大（小麦108万トン、大豆34万トン、飼料用米70万トン〔令和12年度まで〕）
- 需要が伸びている用途（輸出用米、加工用米等）への米の安定供給による経営の安定

＜事業の内容＞

1. 戦略作物への作付体系転換支援事業

- 生産者、試験研究機関、行政・普及など地域の関係者が一体となって行う生産性の向上に資する技術等の実証等を支援します。
- ・麦、大豆等における排水対策や雑草防除などの生産技術の導入
 - ・生産コストを低減する飼料用米等の多収品種や直播栽培の導入

2. 需要に応じた種子生産・供給体制構築支援事業

- 品種開発者又は実需者が中心となり、ニーズのある輸出用米、中食・外食向け、加工用米、麦・大豆等の品種の供給拡大に向けて、複数の種子場において種子生産の拡大を図る場合（※）に必要な経費や、これらに取り組む種子場が新たに原種生産に取り組む場合に必要の共同利用のための機械の導入を支援します。
- （※）原種生産の場合に限り種子場は複数でなくとも可

3. 国産大豆の適正取引支援事業

- 国産大豆の需要拡大の基盤として、国産大豆の透明かつ公正な取引価格の形成に向けた全国段階の入札の実施に対し支援します。

＜事業イメージ＞

【戦略作物への作付体系転換支援事業】



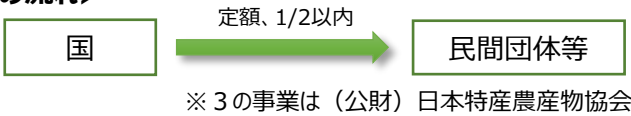
【需要に応じた種子生産・供給体制構築支援事業】



コンソーシアムによる連携で、関係者それぞれの課題を解決

関係者（品種開発者、種子場、実需者）が連携することで、①品種開発者がもつ栽培技術・ノウハウの種子場への横展開や、②需要者が持つ用途・品種ごとの需要情報の共有等により、安定的な種子生産・供給体制を構築。併せて、新たに原種供給力の強化が必要な場合に、共同利用機械等の導入を支援することで、需要に応じた種子生産・供給体制の構築を推進。

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】
（1、3の事業）農産局穀物課豆類班（03-6744-2108）
（2の事業）企画班（03-3502-5965）